

# 水道事業経

区 分	平成 21年度		平成20年度			算出方法
	対前 年度 評価		久留米市	全国平均	給水人口 15万以上 30万未満 事業平均	
<b>長期的健全性</b>						
1 固定資産構成比率(%)	87.7	×	87.0	91.5	90.6	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$
2 固定負債構成比率(%)	30.8		32.1	34.0	35.6	$\frac{\text{固定負債} + \text{借入資本金}}{\text{総資本}} \times 100$
3 自己資本構成比率(%)	66.9		65.7	64.1	62.6	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$
4 固定資産対 長期資本比率(%)	89.8	×	89.0	93.2	92.3	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}} \times 100$
5 固定比率(%)	131.2		132.4	142.7	144.6	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$
<b>短期的支払能力</b>						
6 流動比率(%)	526.2	×	592.6	455.6	518.9	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
7 酸性試験比率(%) (当座比率)	515.4	×	586.8	394.3	480.4	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$
8 現金比率(%)	312.1	×	462.9	332.3	400.1	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$
<b>資産・資本の有効利用等</b>						
9 自己資本回転率(回)	0.2	-	0.2	0.2	0.2	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) \div 2}$
10 固定資産回転率(回)	0.2	-	0.2	0.1	0.1	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \div 2}$
11 当年度減価償却率(%)	3.8	-	3.8	3.2	3.5	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{固定資産(有形} + \text{無形)} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{減価償却費}} \times 100$
<b>利益率・収益性</b>						
12 総資本利益率(%)	1.9		1.8	0.8	0.7	$\frac{\text{当年度純利益} - \text{当年度純損失}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \div 2} \times 100$
13 総収支比率(%)	116.7		115.4	109.2	106.4	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
14 経常収支比率(%)	116.9		115.9	109.2	106.7	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
15 営業収支比率(%)	123.3	×	124.5	118.0	112.8	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$

## 営 分 析 表

区 分	平成 21 年 度	平成 20 年 度			算 出 方 法	
		対前 年度 評価	久留米市	全国平均		給水人口 15万以上 30万未満 事業平均
<b>企業債関連</b>						
16 利子負担率 (%)	2.2		3.1	3.1	3.1	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{他会計借入金} + \text{一時借入金}} \times 100$
17 企業債償還元金 対減価償却額比率 (%)	97.9		226.2	88.3	80.8	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$
18 企業債償還元金 対料金収入比率 (%)	23.9		54.0	26.5	23.0	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{料金収入}} \times 100$
19 企業債利息 対料金収入比率 (%)	4.8		6.6	10.8	9.9	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$
20 企業債元利償還金 対料金収入比率 (%)	28.6		60.6	37.3	32.9	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$
<b>職員関連</b>						
21 職員給与費 対料金収入比率 (%)	18.3		19.0	14.9	15.9	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$
22 職員一人当たり 営業収益 (千円)	55,073		53,679	65,148	57,608	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
23 職員一人当たり 有形固定資産 (千円)	317,823		293,721	499,561	395,470	$\frac{\text{期末有形固定資産}}{\text{損益勘定所属職員数} + \text{資本勘定所属職員数}}$

### 備 考

- 1 対前年度評価欄は、久留米市における前年度数値との比較で、状態が好ましい方向へ推移しているものを、好ましくない方向へ推移しているものを×と表示している。また、前年度と比べて変化のないものは-と表示している。
- 2 自己資本とは、自己資本金と剰余金の合計額を用いて算出している。
- 3 総資本とは、負債と資本との合計額を用いて算出している。
- 4 21の職員給与費は、損益勘定所属職員に係る給与費から算出している。
- 5 全国平均欄の数値は、「地方公営企業年鑑」(総務省自治財政局編)の「水道事業(14)累年貸借対照表及び財務分析表(法適用)イ財務分析表」の数値を用いている。